

# ふらっとの窓

平成 20 年 4 月 1 日 第 5 号

住所 〒273-0011 船橋市湊町 2-1-5 MIIビル 101R  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>  
Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



♪♪春よ！来い 早く！来い♪♪

## 歩き始めたミーちゃんが おんもに出たいと待っている

待ち遠しかった【春・・・】やってきました。今【桜】が満開です。春はとっても楽しい季節ですね\*\*子供たちは一つずつお兄さんお姉さんになって\*\*卒業して社会人となり、旅たちの日を迎える方も\*\*ちょっぴり寂しいのは、お別れの春\*\*卒業していく方\*\*職場では、転勤（異動）、退職されたり・・・一つの節目ともなる春です。「ふらっと船橋」にとっては二度目の春・・・

春のうららかな日差し、柔らかなお日様を心と身体いっぱいを感じながら、新しい年度を向かえ、職員一同、今年度も精一杯『良い支援』目指し、更なる努力の春になりますように宜しくお願い申し上げます。

## 国家的危機・・・？



先日、某福祉系私大の先生とお話しした折に「施設に職員が集まらず困っています」と言うと、「大学にも生徒が集まらず、定員割れの状態です」とのこと。その私大は福祉系では結構名の売れた学校ではあるのですが。

高齢者施設等の現場に、新卒を含め職員が来ない、不足して危機的状況であることはしばしば報じられて来ました。障害施設の現場も然り、です。

先生曰く「足を運び高校の先生に福祉大への進学を生徒さんへとお願いと、福祉系への進路は生徒の親が嫌がるんですよ」とのこと。何をかいわんや、である。

介護の問題を社会の問題として、国民に負担を求めながら共有化を図る。つまりは、国民の理解のもとに高齢者の介護を保障していく、誰もが安心して老いていけますように、が主旨ではないかの介護保険制度。一側面としてのこの惨状はどう解してよいものか。この間起きたこと、福祉現場における支援のパーツ化は顕著。業務職責を切り売りしながら、なるべく低い対価で労働力を確保する。つまりは常勤換算法という職員の非常勤化。競争原理という弱肉強食、強者の厚顔を高価値と見間違えるような仕組みを、福祉という極めてデリカシーの要求される世界に導入した改革という名の時代錯誤などなど。介護保険制度や障害者自立支援法もこの状況にどう対処するのか、できるのか。国を挙げての施策の結果、と言えはしないのか。この惨状は私にとっては国家的危機と思えるのですが…。

(船橋福祉相談協議会長 宮代隆治)

# 「ふらっと船橋」と「自立支援協議会」

障害者自立支援法において、地方自治体の重点施策として最も求められているのが、地域生活支援事業に位置付けられた「相談支援事業」と「地域自立支援協議会」の二つです。

平成 15 年にノーマライゼーションの理念に基づいて導入された支援費制度から、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指すことを目的として制定された障害者自立支援法へと「自己選択」及び「自己決定」といった考え方が受け継がれています。これを可能にする地域を創るためには、「相談支援事業」により利用者の社会生活課題やニーズを的確に把握し、「地域自立支援協議会」において地域で生活するための具体的なシステムづくりをしていくことが必要となります。

このようなことから平成 18 年 10 月に市内の社会福祉法人、NPO 法人及び障害者

団体などで組織された船橋福祉相談協議会へ相談事業を委託し、三障害を一元化した相談支援事業を行う「ふらっと船橋」を開設し、平成 19 年 4 月には地域の方々のご協力を得て地域自立支援協議会を立ち上げました。

障害者の地域生活を支援するためには、個々の障害者の多種多様なニーズと様々な社会資源の間に立って、複数のサービスを適切に結びつけて調整を図るとともに、総合的かつ継続的なサービス供給を確保し、社会資源の改善及び開発を推進することが必要です。それを具体的に行うのが相談支援事業であり、その中核的役割を果たすのが地域自立支援協議会なのです。

最後になりますが、これからも障害者の方が安心して生活していけるよう皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(障害福祉課課長補佐 佐藤幸胤)

## ある日のふらっと <卒業式>

卒業式、我が子の笑顔は格別なものですね。「支援！支援！って私たちは全て支援を受けなければ生活が出来ない」よくお母さんはおっしゃいます。「社会の税金を使って迷惑ばかりかけて～」と辛そうに昔の自分の生き様を語る・・・今年可愛いお子さんが卒業の春を迎えました。卒業式にしっかりと卒業証書を受け取る事もできるようになり、大人への道を歩き始めました。その子の笑顔は誰にも可愛がられ、お母さんの律儀さは、『人』とのつながりを大切にする。だから自然とご家族の周りには支援する人が集まる。お子さんの素晴らしい笑顔、一生懸命辛さに耐えながら生きているお母さんの姿、そして支えてくれている方々の支援の輪がチームになって・・・卒業おめでとう！！ いつまでも素敵な笑顔でね！！

20年度のスタートです。

今年度も7名の職員体制で「ふらっと船橋」は活動していきたいと思っております。ただとても残念な事に「ふらっと」発足前の時代から数えると12年もの間、相談員を勤めてこられた前田満子が3月末をもって退職いたしました。「ふらっと」誕生に関しても沢山の功績を残しました、感謝をもってお見送りしたいと思います。

後任として、今まで他の地域で相談支援をされてきた職員が配置されました（斉藤絹代）

どうぞ、宜しくご支援のほどお願い申し上げます。

(ふらっと船橋 所長 宮尾修)